HONKO

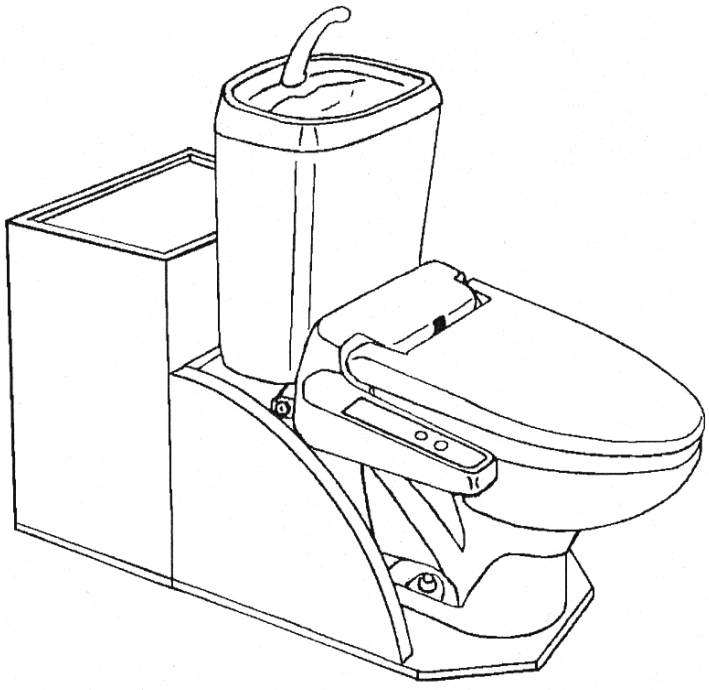
ラブレット®

ポータブル水洗トイレ

ＨＦ－１

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
また、便座などお取り付け機器の取扱説明書につきましても同様にお願いいたします。



※イラストは多機能便座をセットした状態です。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

安全にお使いいただくために……　２～３ページ
お取り扱い上の注意……　３ページ
特徴……　４ページ
各部のなまえ……　５ページ
仕様……　６ページ
ご使用いただく前に確認してください…　７ページ
ご使用方法……　８ページ
ご使用上の注意……　８ページ
お手入れ方法……　８～９ページ
長期間使用しない場合……　９ページ
冬季凍結の恐れがある場合……　９ページ
修理を依頼される前に……　10～12 ページ
テクニカルガイド……　13 ページ
　１）粉砕装置のフタの外し方……　（13 ページ）
　２）粉砕装置カバーの外し方……　（13 ページ）
　３）右サイドカバーの外し方……　（13 ページ）
　４）排水ポンプの交換……　（14 ページ）
　５）フロートレスリレーの交換……　（14 ページ）
　６）配線図……　（15～16 ページ）
施工（施工業者様へ）……　17～21 ページ
アフターサービスについて……　22 ページ
保証書……

安全にお使いいただくために

取扱説明書や製品のラベルに記載されている⚠マーク付の説明は、安全上特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠危険 誤った取扱いをしたときに、重傷または死亡につながる重大事故が発生する可能性があるとき。

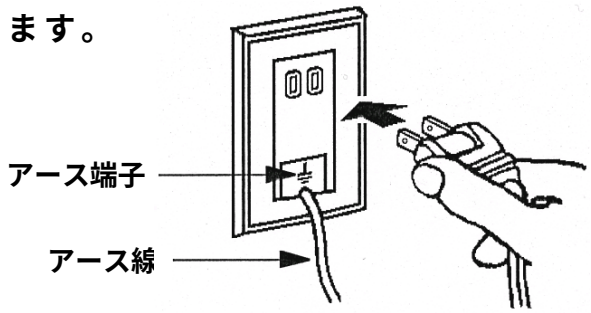
⚠警告 誤った取扱いをしたときに、重大な傷害を受ける事故が発生する可能性があるとき。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または中程度の傷害をうけ、製品の破損等につながる事故が発生する可能性があるとき。

⚠警告

◎人が重大なケガを負う場合がありますので、必ず守ってください。
◎禁止事項は絶対にやめてください。

- いずれかの理由により便器内の汚水が排出されない場合、洗浄を中止してください。洗浄を続けると便器より汚物水が溢れ出ます。
- 給水ホースは、必ず接続する上下水道の水圧以上の耐圧を有する工業用ホースをご使用ください。破裂、水漏れの恐れがあります。
- 電源プラグに付着したほこりは定期的に取り除いてください。絶縁不良により火災の原因になります。
- 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- アースを確実に取り付けてください。
  故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

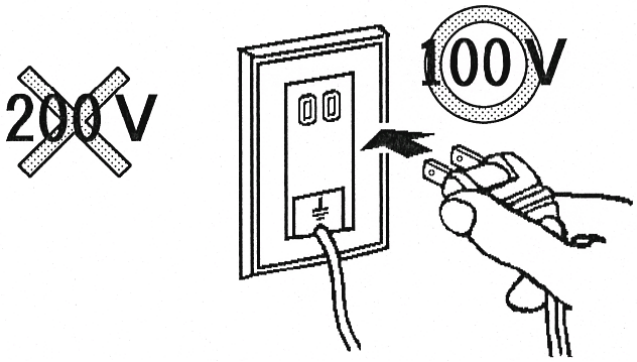


- 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- サービス技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。感電・火災の原因や、異常動作でケガをすることがあります。

⚠注意

◎人がケガをしたり、製品や物が壊れたりする原因となりますので、十分注意してください。

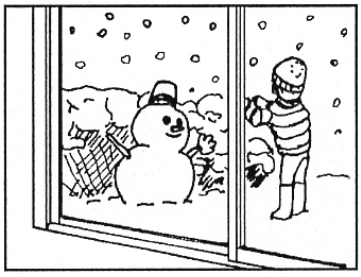
- **水洗トイレ用トイレットペーパー以外はご使用にならないでください。**
  粉砕装置故障の原因となります。
- **メンテナンスや故障の際はコンセントから電源プラグを抜いてください。**
  そのまま使用すると感電・火災・ケガの原因となります。
- **交流１００Ｖ以外は使用しないでください。**
  火災・感電・故障の原因となります。



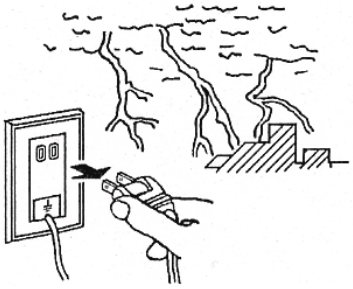
お取り扱い上の注意

◎故障を起こさないために守ってください。

- **凍結の恐れがある場合は、凍結による機器の破損を防ぐために凍結防止の処置を実施してください。（９ページ）**



- **雷が近くで発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。事故や故障につながる場合があります。**

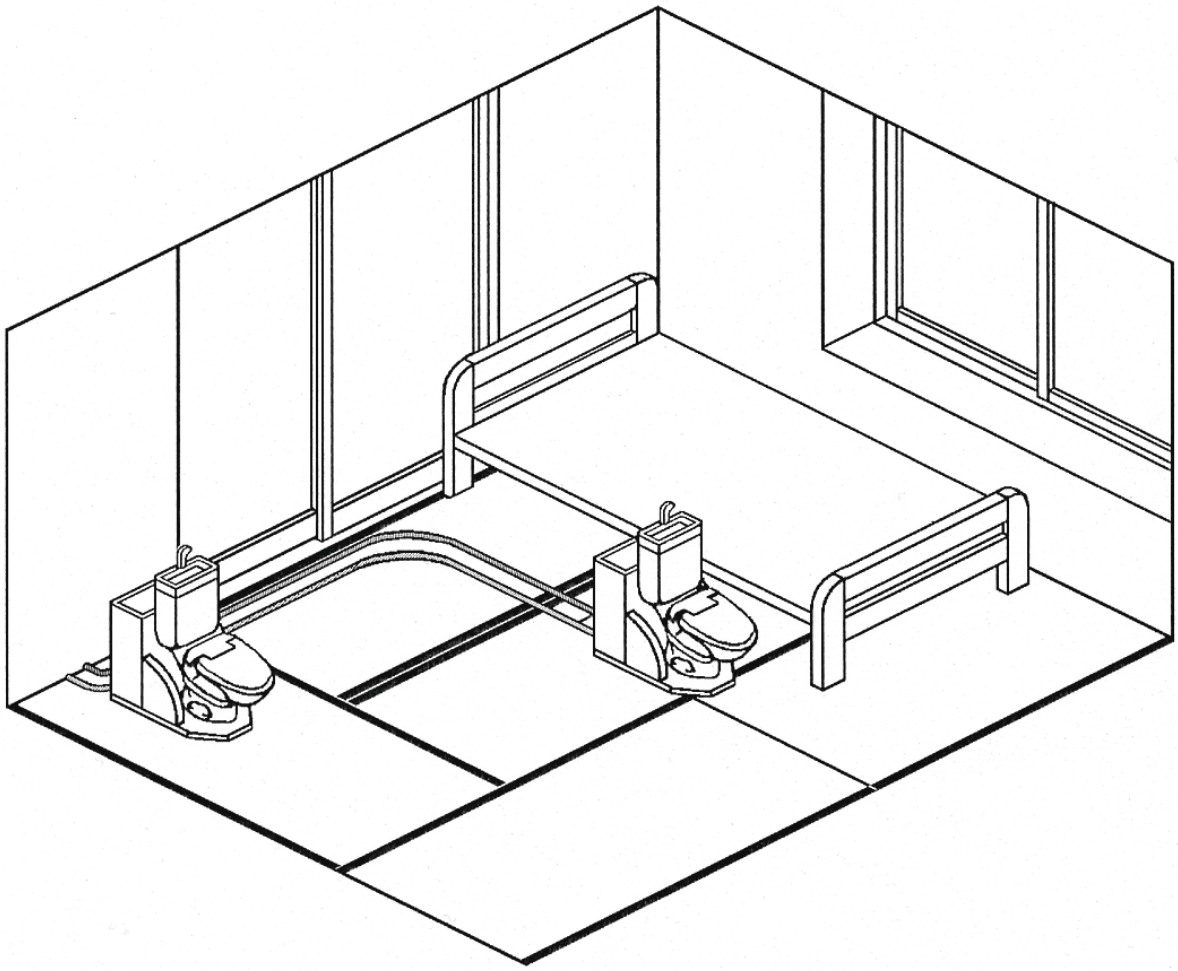


- **給排水ホースの上に物を乗せたり、鋭角に曲げたりしないでください。**
  ホースの破裂・水漏れ・故障の原因になる場合があります。
- **粉砕装置カバーの上に乗ったり、重たい物を乗せないでください。破損・故障・ケガの原因になる場合があります。**
- **便器に水洗トイレ用トイレットペーパー以外のものを流さないでください。**
  故障・溢れの原因になる場合があります。
  流した場合は粉砕装置のフタを外し異物を除去してください。
  （１３ページ：粉砕装置フタの外し方）

特　　徴

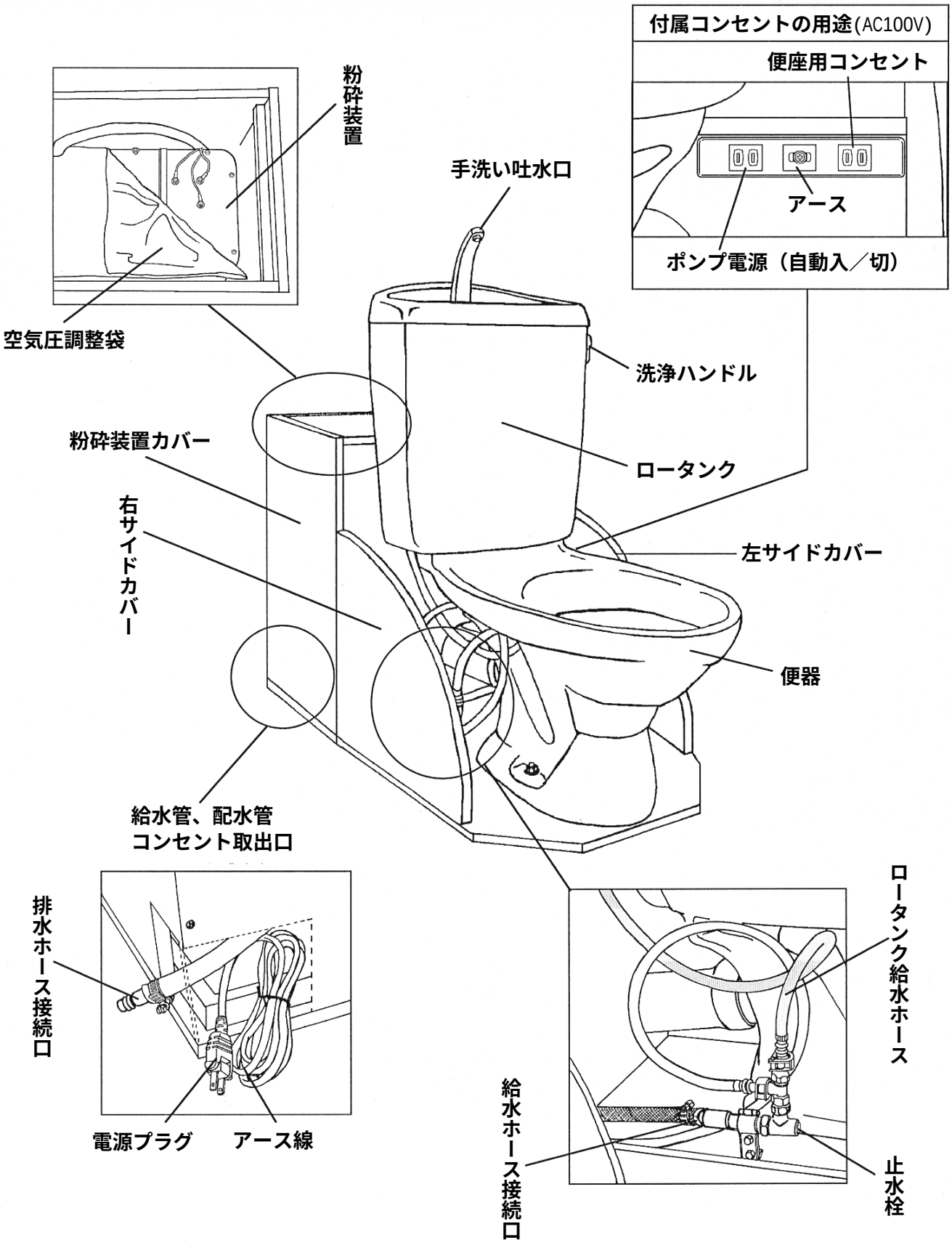
○このポータブル水洗トイレ「ラブレット」はお部屋に排泄物を残さない水洗タイプのトイレです。わずらわしい後始末の必要がなく、臭いも今までの簡易トイレより気になりません。

○ベッド脇のわずかなスペース等に設置ができます。また、給水・排水ホースの長さ内でのトイレの設置場所が移動できます。



○トイレの設置に伴うホース等の接続を最小限に設計しておりますので、トイレの設置、及び撤去が簡単に行なうことができます。
（トイレに給水ホースと排水ホースを接続して、電源プラグをコンセントに差すだけです。）

各部の名称



※便器及び便座の各部詳細のなまえは、それぞれ同梱の説明書を参照願います。

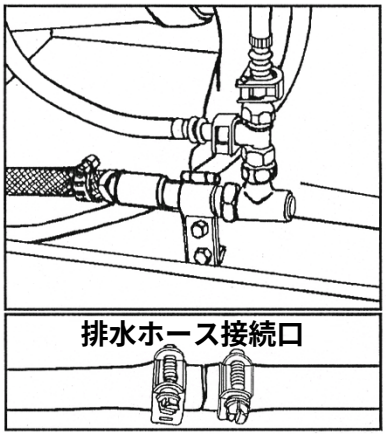
仕　様

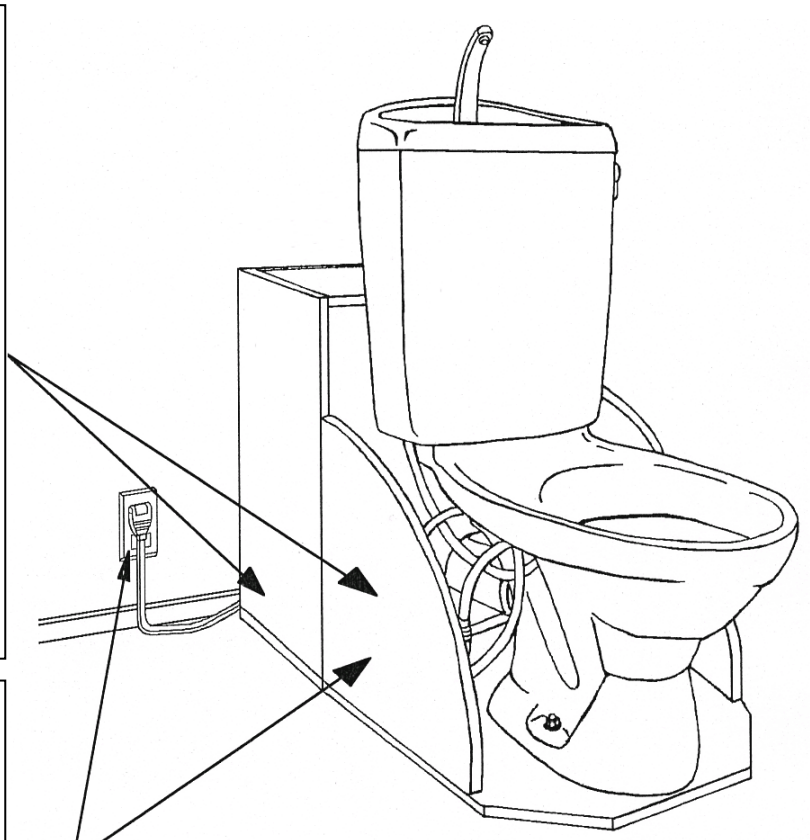
品　名		ラブレット 普通便座セット	ラブレット 暖房便座セット	ラブレット 温水便座セット	ラブレット 多機能便座セット
形　式		HF-1+CF-37A	HF-1+CF-18AS	HF-1+CW-B31	HF-1+CW-H23
外形寸法		500×986×1045㎜	500×986×1045㎜	540×986×1045㎜	540×986×1045㎜
重　量		約３８kg	約４０kg	約４３kg	約４３kg
便座	抗　菌	ＪＩＳ抗菌	ＪＩＳ抗菌	ＪＩＳ抗菌	ＪＩＳ抗菌
	スローダウン	―	○	○	○
	暖房便座	―	切（室温） 入（無段階）	切（室温） 入（約 36℃） おしり・ビデ専用 オートスライド式 安全装置（温度ヒューズ・ 高温感知スイッチ）	切(室温)・低(28℃)・ 中(36℃)・高(40℃) おしり・ｿﾌﾄﾋﾞﾃﾞ専用 オートスライド式 安全装置（温度ヒューズ・ 高温感知スイッチ）
	洗浄機能	―	―		
	脱臭機能	―	―	―	脱臭カートリッジによる 科学吸着方式 カートリッジ寿命 （約７年）
	温風乾燥	―	―	―	低(室温)・中・高
	最大定格 (AC100V50/60Hz)	―	４８W	３０９W	３０９W
排水装置	口　径	１５mm			
	吐出し量	２７.０リットル／分			
	前揚程	２.３５m(50Hz)／３.４７m(60Hz)			
	定格(AC100V)	１７０W(50Hz)／１９０W(60Hz)			
その他		便器：ＪＩＳ抗菌適合			

ご使用いただく前に確認してください。

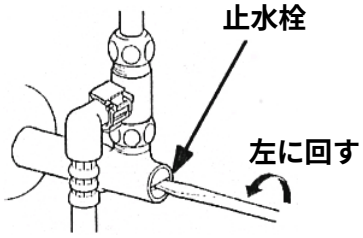
ポータブル水洗トイレ「ラブレット」をご使用される前に必ず下記の項目を確認してください。
（便座については、便座の取扱説明書をご覧ください。）

1．給水ホース・排水ホースのホースバンドが締まっていることを確認します。
（月に１回程度確認してください。）

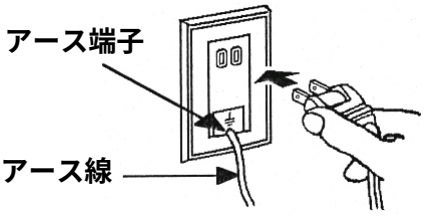




2．止水栓が開いていることを確認します。
（本体以外の止水栓についても確認します。）

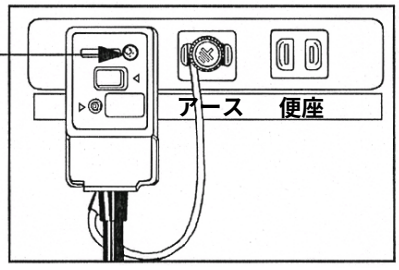


3．電源プラグとアース線をコンセントに接続します。



4．ポンプの漏電遮断機器付プラグが本体コンセントの「ポンプ」の位置に差し込まれていることを確認します。
（同様にアース線も確認します。）

＊漏電表示ランプが消えていること。

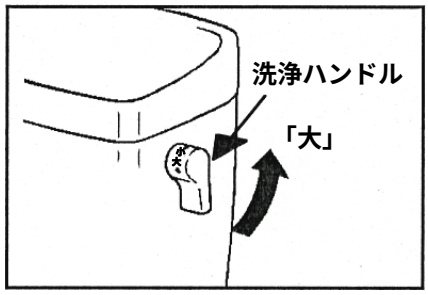


5．洗浄ハンドルを「大」の方向に回しトイレに水が流れることを確認します。
次にポンプの作動音とともに粉砕装置より排水されることを確認します。
（１回の動作で排水されない場合、もう一度洗浄ハンドルを「大」に回します）

ご使用方法

（便座については、便座の取扱説明書をご覧ください。）

○便器鉢内の洗浄のしかた
使用後、便器内を洗浄する（汚物を流す）場合、洗浄ハンドルを「大」の方向に回してください。
「大」：大用・小用とも使用後にお使いください。
「小」：使用しないでください。



注　意
Caution

○汚物粉砕圧送システムを採用しておりますので、**水洗トイレ用のトイレットペーパー以外を流すと装置が故障することがあります。**
固形物を誤って流した場合は、直ちに使用を中止し、砕砕装置内の固形物を取り除くなど、必要な処置をとってください。（１０ページ）

ご使用上の注意

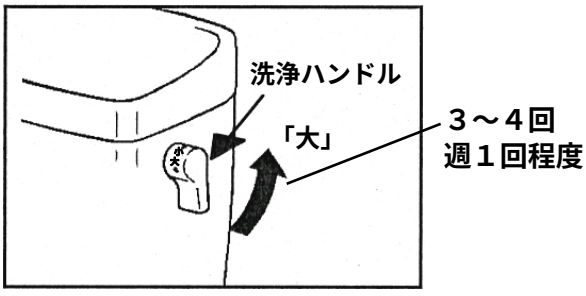
故障を起こさないために守ってください。

●**水洗トイレ用のトイレットペーパー以外は流さないでください。**故障する場合があります。
●木製フレーム部に無理な力をかけないでください。破損する場合があります。

＊便器については、便器の取扱説明書をご覧ください。
＊便座については、便座の取扱説明書をご覧ください。

お手入れ方法

●粉砕装置
１週間に１回程度、水のみで便器鉢洗浄を３～４回おこなってください。
これにより粉砕装置内を洗浄することができます。



●木製フレーム
　汚れが付着した場合、雑巾などを使用し汚れを取り除いてください。

＊便器については、便器の取扱説明書をご覧ください。
＊便座については、便座の取扱説明書をご覧ください。

長期間使用しない場合

何らかの理由で長い間使用しないときは、万一の故障防止のために以下の操作をおこなってください。

１．水のみで便器鉢洗浄を３～４回おこない、粉砕装置内の洗浄を実施します。
　（必要回数実施してください）
２．電源プラグを抜きます。
３．手動式ポンプなどで粉砕装置内の水を汲み出します。
　（１３ページ:粉砕装置フタの外し方参照）
４．給水経路上にある全ての止水栓を操作し給水を止めます。

＊便器については、便器の取扱説明書をご覧ください。
＊便座については、便座の取扱説明書をご覧ください。

冬期凍結の恐れがある場合

○水のみで便器鉢洗浄を３～４回おこない、（必要回数実施してください）
　粉砕装置内で洗浄を実施後、電源プラグを抜き、手動式ポンプなどで粉砕装置内の水を汲み出します。（１３ページ：粉砕装置フタの外し方参照）

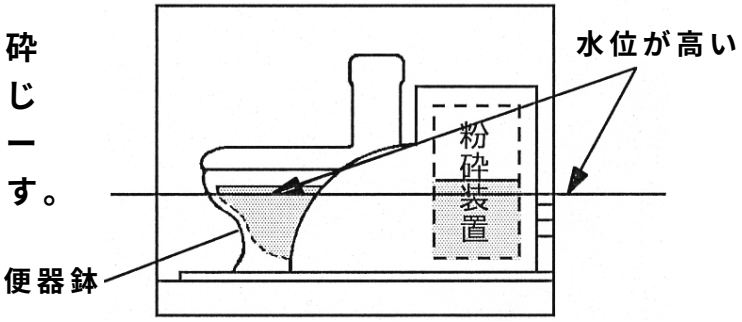
＊便器については、便器の取扱説明書をご覧ください。
＊便座については、便座の取扱説明書をご覧ください。
＊屋外の給排水設備（配管）については施工業者にご確認の上、適切に処置してください。

修理を依頼される前に

＊便器については、便器の取扱説明書をご覧ください。
＊便座については、便座の取扱説明書をご覧ください。

○便器が詰まった場合
便器取扱説明書記載の処置を実施する前に、粉砕装置内に異物（固形物）の混入が無く、排水が正常におこなわれることを確認してください。（便器が詰まったのではなく粉砕装置の故障等により、便器鉢の水が排水されない場合があります。）

＊便器鉢の水位が通常より高く、粉砕装置内の水位が便器鉢の水位と同じ場合、粉砕装置の故障又は排水ホース（配管）の詰まりが考えられます。



○水洗トイレ用トイレットペーパー以外の異物（固形物）を流してしまった場合
ただちに、電源プラグを抜き粉砕装置の排水を止めてください。
粉砕装置の動作停止確認後、粉砕装置内の異物を取り除いてください。
（１３ページ：粉砕装置フタの外し方参照）

○粉砕装置の動作時間が長くなった場合

粉砕装置内への異物混入	⇒	ＹＥＳ：粉砕装置内の異物を取り除いてください。
⇓		
ＮＯ 排水ポンプは正常に作動している。	⇒	ＹＥＳ：排水ホース（配管）の詰まりが考えられます。原因を取り除いてください。
⇓		
ＮＯ 排水ポンプの故障が考えられます。修理を依頼してください。		

○粉砕装置（排水ポンプ）の動作が止まらない。

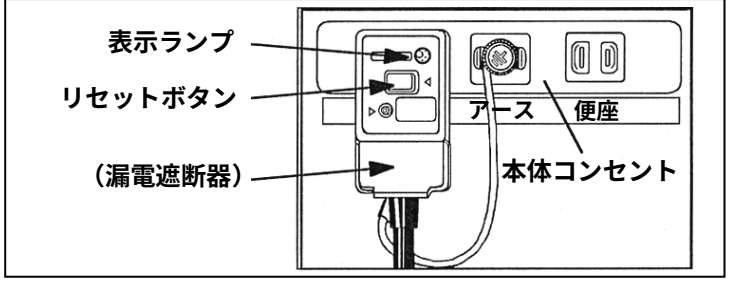
水位センサーに異物付着	ＹＥＳ	異物を取り除きクリーニングしてください。
ＮＯ 排水ポンプ制御回路の故障が考えられます。修理を依頼してください。		

○粉砕装置から「カタカタ」等異音がする

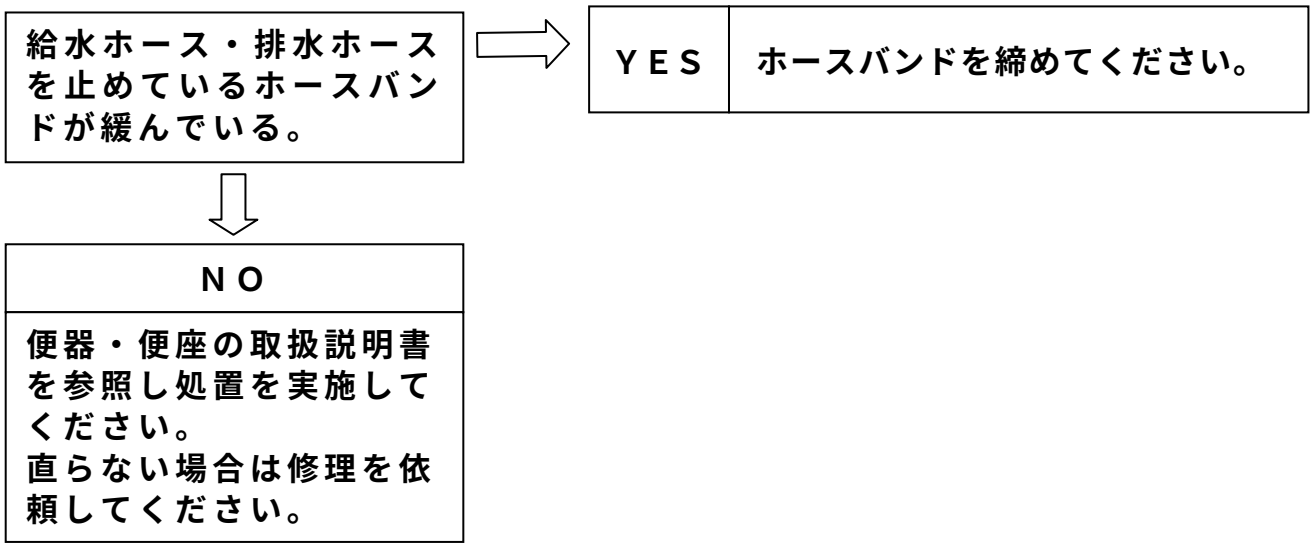
粉砕装置内への異物混入	ＹＥＳ	粉砕装置内の異物を取り除いてください。
ＮＯ 排水ポンプの故障が考えられます。修理を依頼してください。		

○排水装置が作動しない

電源プラグがコンセントに入っていない。	ＹＥＳ	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ＮＯ 排水ポンプの漏電遮断器付プラグが本体コンセントに入っていない。	ＹＥＳ	漏電遮断器付プラグを本体コンセントの「ポンプ」の位置に差し込んでください。
ＮＯ 表示ランプが点いている。	ＹＥＳ	漏電遮断器をリセットしてください。
ＮＯ 粉砕装置の故障が考えられます。修理を依頼してください。		



○水漏れがある


給水ホース・排水ホースを止めているホースバンドが緩んでいる。
YES
ホースバンドを締めてください。
NO
便器・便座の取扱説明書を参照し処置を実施してください。
直らない場合は修理を依頼してください。

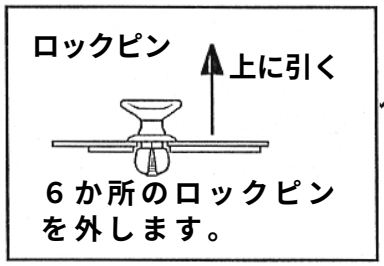
テクニカルガイド

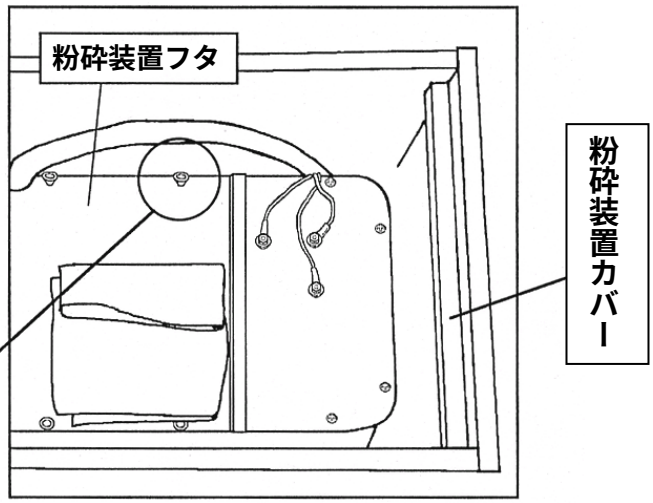
⚠ 警　告 ●感電の危険がありますので作業の前には、必ず電源プラグを抜いてください。

1）粉砕装置フタの外し方

①粉砕装置カバー上部のフタを外します。

②粉砕装置フタを止めてあるロックピンを６本ゆるめ粉砕装置フタを外します。





2）粉砕装置カバーの外し方

⚠ 警　告 ●感電の危険がありますので作業の前には、必ず電源プラグを抜いてください。

①粉砕装置カバーを止めている７か所のネジを外します。
（左２か所、右３か所、後２か所の合計７か所）

②粉砕装置カバーを上にゆっくりと持ちあげ、外します。

3）右サイドカバーの外し方

⚠ 警　告 ●感電の危険がありますので作業の前には、必ず電源プラグを抜いてください。

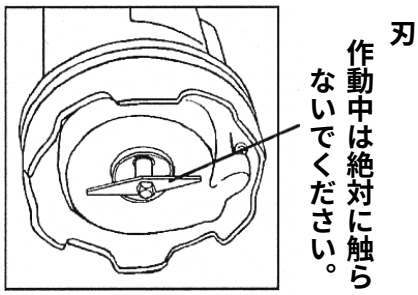
①右のサイドカバーを固定している４か所のネジを外します。

②右サイドカバーを外します。

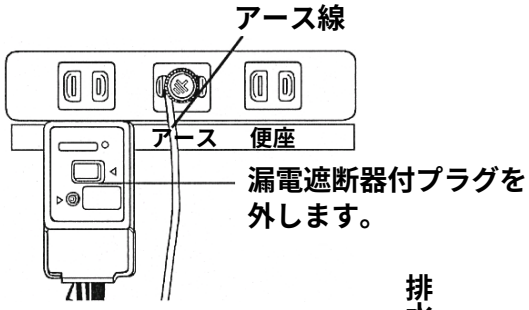
4）排水ポンプの交換

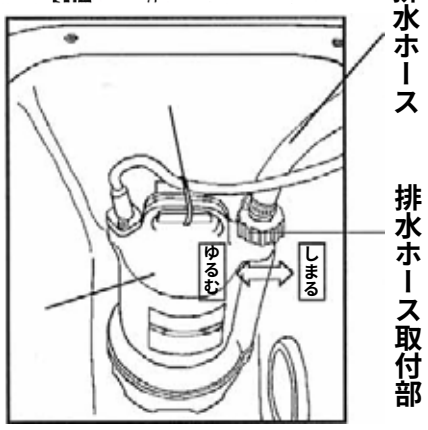
⚠ 危　険　●感電の危険がありますので作業の前には、必ず電源プラグを抜いてください。

⚠ 警　告　●排水ポンプには刃が付いています。排水ポンプ作動時に刃にさわるとケガをする危険があります。



①ポンプの漏電遮断器付プラグを本体コンセントから抜いてください。
（このときアース線も一緒に外してください。）
②「粉砕装置のフタの外し方」（１３ページ）に従い粉砕装置フタを外してください。
③排水ポンプを止めているロックタイを切り取ります。
④排水ホース取付部を左に回し、排水ホースを排水ポンプから外します。
⑤排水ポンプを上方向に持ち上げながら粉砕装置から取り出します。
⑥新しい排水ポンプの取り付けは②～⑤の手順と逆に取り付けてください。



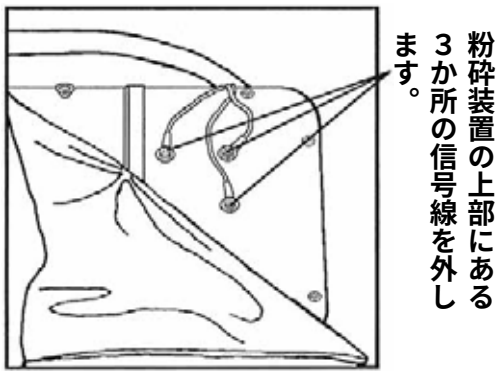


※作業がやりにくいときは粉砕装置カバーを外してください。
（１３ページ：粉砕装置カバーの外し方参照）

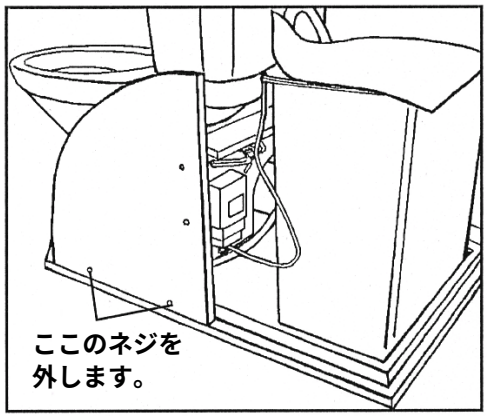
5）フロートレスリレーの交換

⚠ 危　険　●感電の危険がありますので作業の前には、必ず電源プラグを抜いてください。

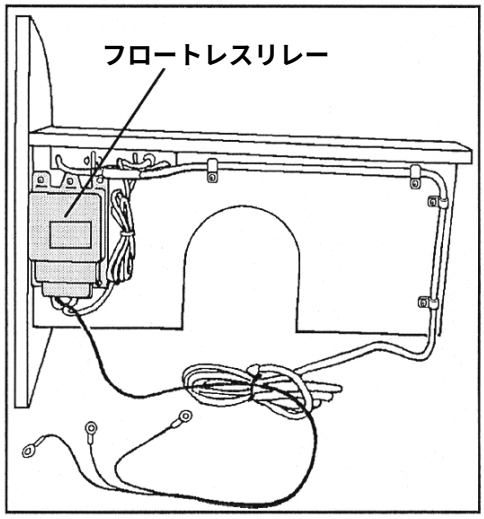
①粉砕装置カバーと右サイドカバーを外してください。
（１３ページ：粉砕装置カバーの外し方、右サイドカバーの外し方参照）
②水位センサーに接続してある信号線３本を外してください。



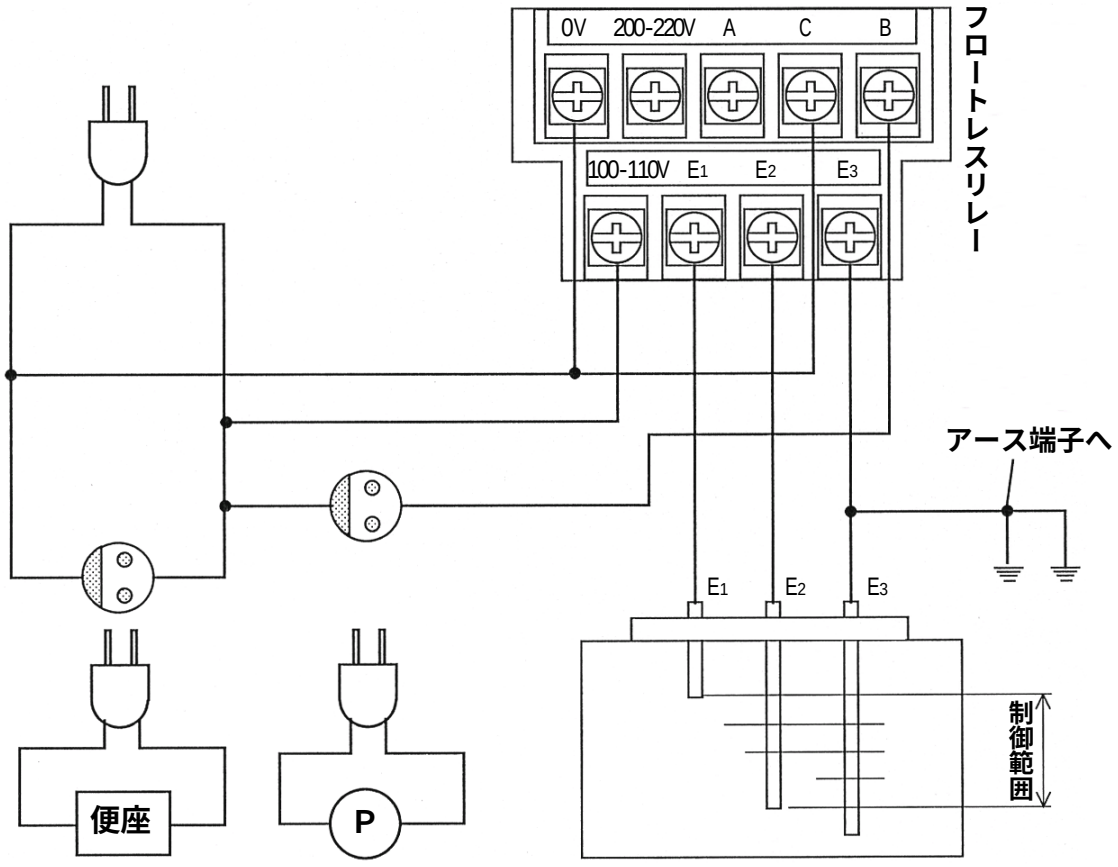
③左サイドカバーを外します。
左サイドカバーを止めている２か所のネジを外して、左サイドカバーとともにフロートレスリレーを取り外します。



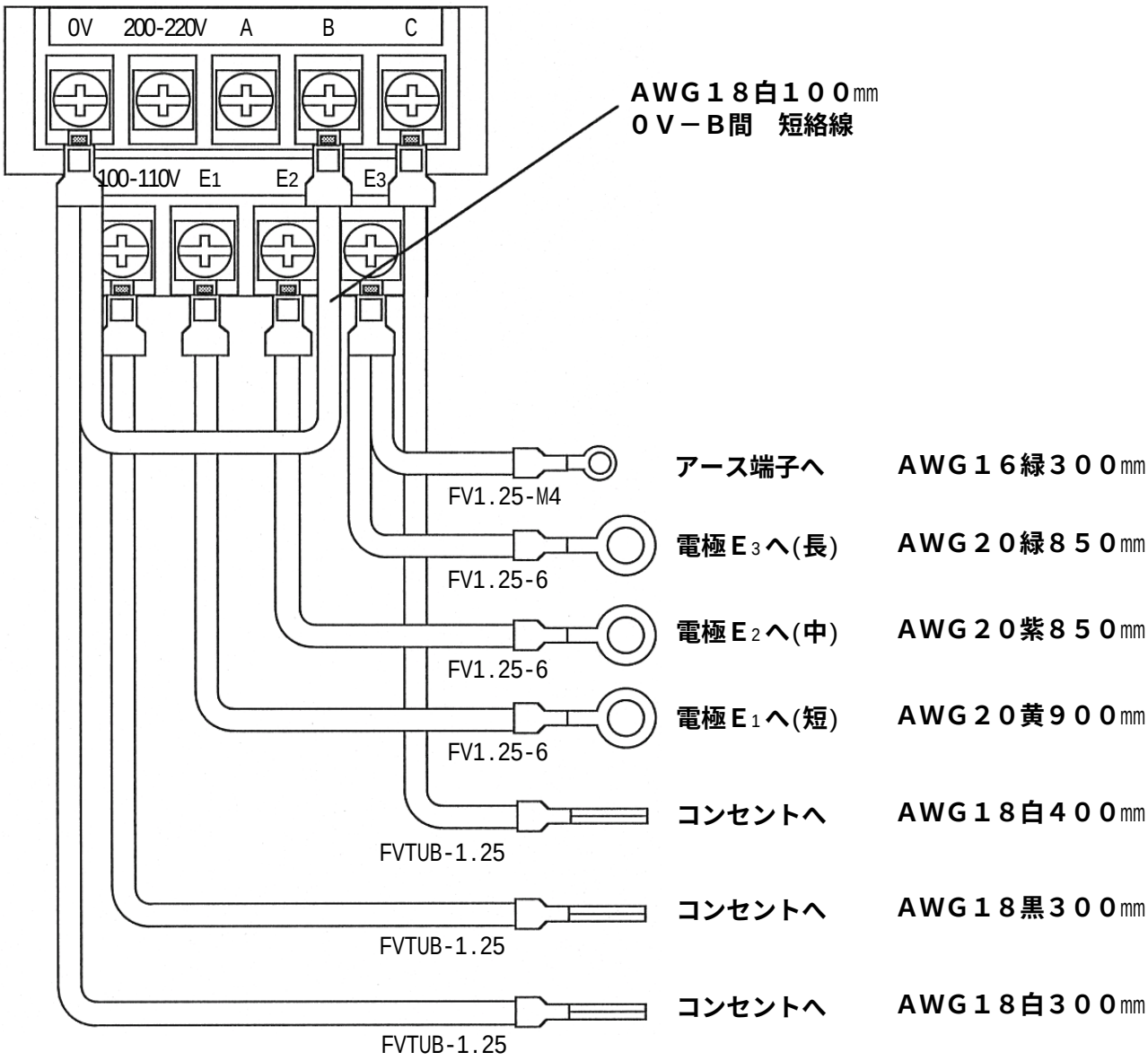
④配線及びフロートレスリレーを左サイドカバーから外します。
新しいフロートレスリレーに交換してください。
そのとき、配線の接続を間違わないように下の配線図を参考にして配線してください。
⑤フロートレスリレーを交換した左サイドカバーを本体にネジで取り付けます。



６）配線図



フロートレスリレー端子部の配線
０Ｖ、Ｅ３はＦＶ２－Ｍ４（２－Ｍ４）を使用。
それ以外はＦＶ１.２５－Ｍ４を使用



※配線の色、長さは予告無しで変更する場合があります。作業前に必ず配線を確認してください。

設　置

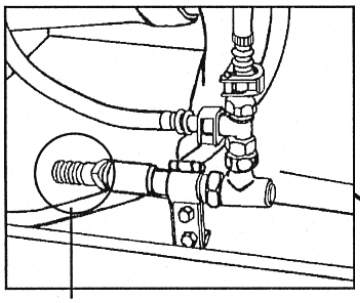
○ラブレットは給水ホースと排水ホースを接続するだけで使用でき、住宅改修を伴う大がかりな施工を必要としません。（給排水設備の状況により必要な場合もあります。）
○下水道、浄化槽等の排水設備が無く、水洗式トイレが使用できない場合はご使用になれません。（別途排水処理を行うことで使用できる場合もあります。）

注　意
Caution

○ホース接続の注意点
○給水ホース接続部には必ず止水栓を設置してください。
○給水・排水ホースの接続には付属のホースバンドを使用し、水漏れの無いよう締めてください。
○給水・排水ホースが鋭角的な曲がり、折れの無いようにしてください。

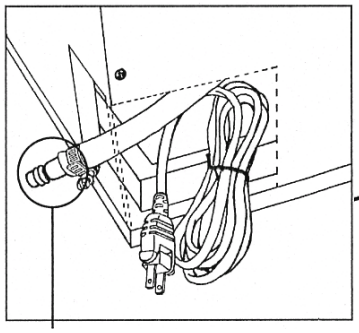
●給水・排水ホースの接続
給水・排水ホースは下の図のように接続してください。

・給水ホース接続口

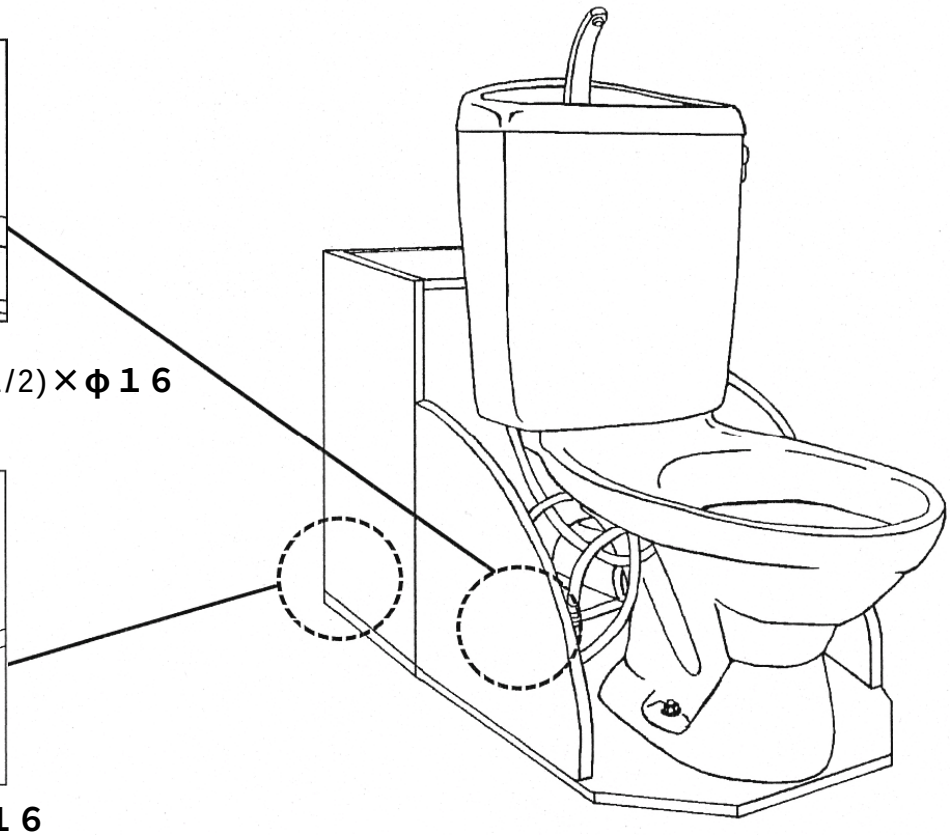


ホースニップル：１３(1/2)×φ１６

・排水ホース接続口



ホース継ぎ：１５×φ１６



－室内ホース－
・給水ホース（工業用耐圧ホース）：内径 15㎜（耐圧 0.7(7)Mpa(kgf/cm²)以上）
・排水ホース（耐圧ホース）：内径 15㎜（ねじれ、折れに強いホースを推奨）

設置手順

注　意
Caution

○ホース接続の注意点

○給水ホース接続部には必ず止水栓を設置してください。

○給水・排水ホースの接続には付属のホースバンドを使用し、水漏れの無いよう締めてください。

○給水・排水ホースが鋭角的な曲がり、折れの無いようにしてください。

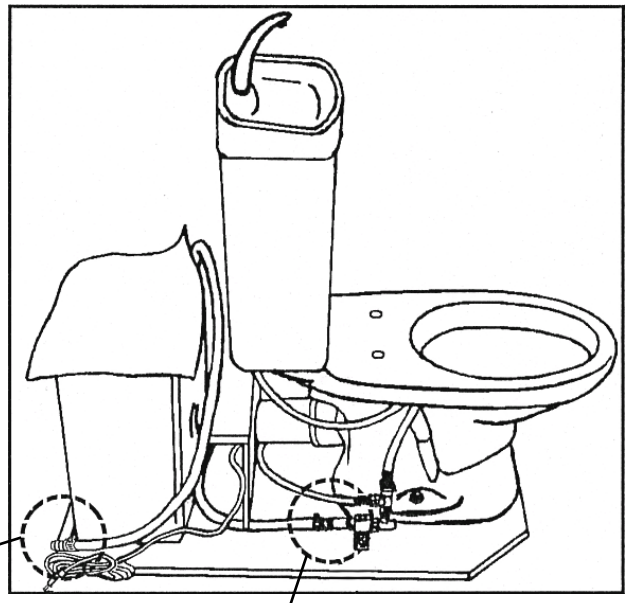
※便器への便座の取り付けにつきましては、便器・便座の取扱説明書をご覧ください。

1）カバーの取り外し

右サイドカバーと粉砕装置カバーを取り外します。
右のイラストは取り外した状態です。

2）ホース接続

本体止水栓部のホースニップルに、給水ホースを、本体排水ホース部のホース継手に排水ホースを接続します。

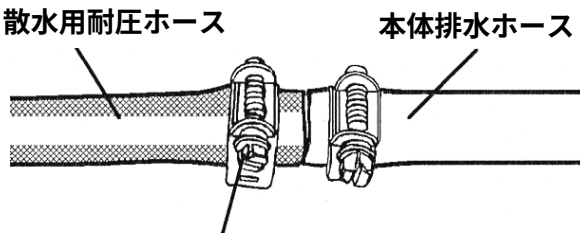


排水ホースの接続

本体排水ホース部のホース継手に、散水用耐圧ホース（それ以上の品質可）を挿入し、付属のホースバンドで水漏れの無いよう締め付けます。

※排水ホース設置例（１９ページ）を参考に排水箇所へ接続します。

排水ホース接続口



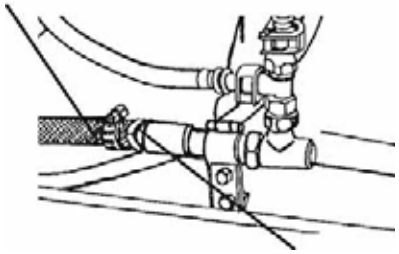
付属のホースバンドで水漏れの無いように締め付ける

給水ホースの接続

本体止水栓部のホースニップルに、工業用給水ホース（内径 15㎜・耐圧 0.7Mpa 以上）を挿入し、付属のホースバンドで水漏れの無いよう締め付けます。

※ホースの片方は、給水管の止水栓に本体同様に接続します。

業務用給水ホース
（内径 15㎜・耐圧 0.7Mpa 以上）

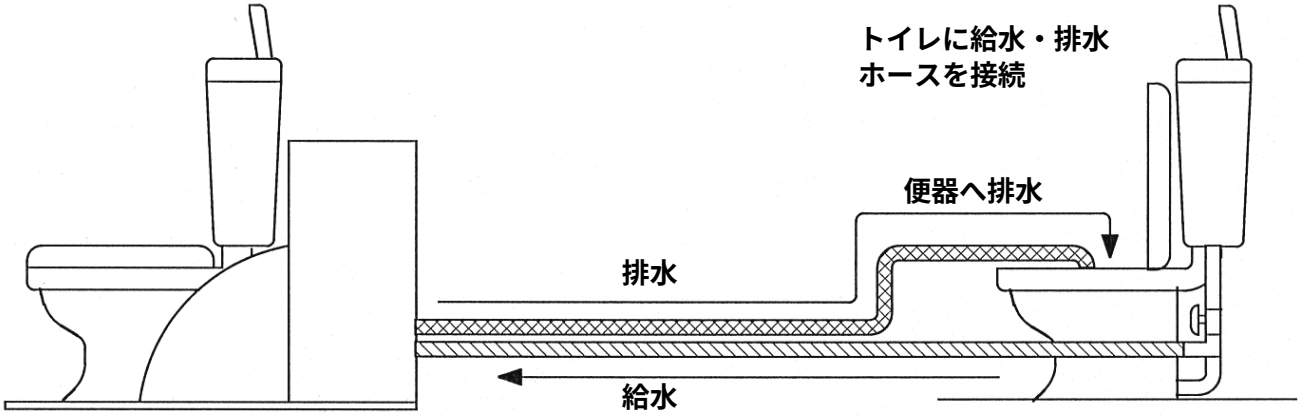


付属のホースバンドで水漏れの無いように締め付ける

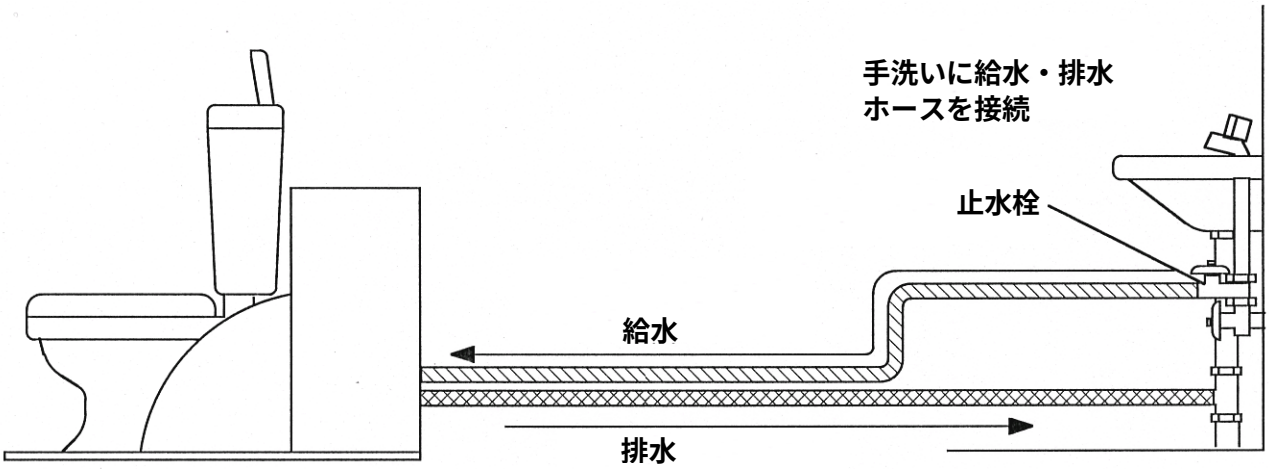
3）1）で取り外したカバーを元に戻し、水漏れの無いことを確認後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

設置例

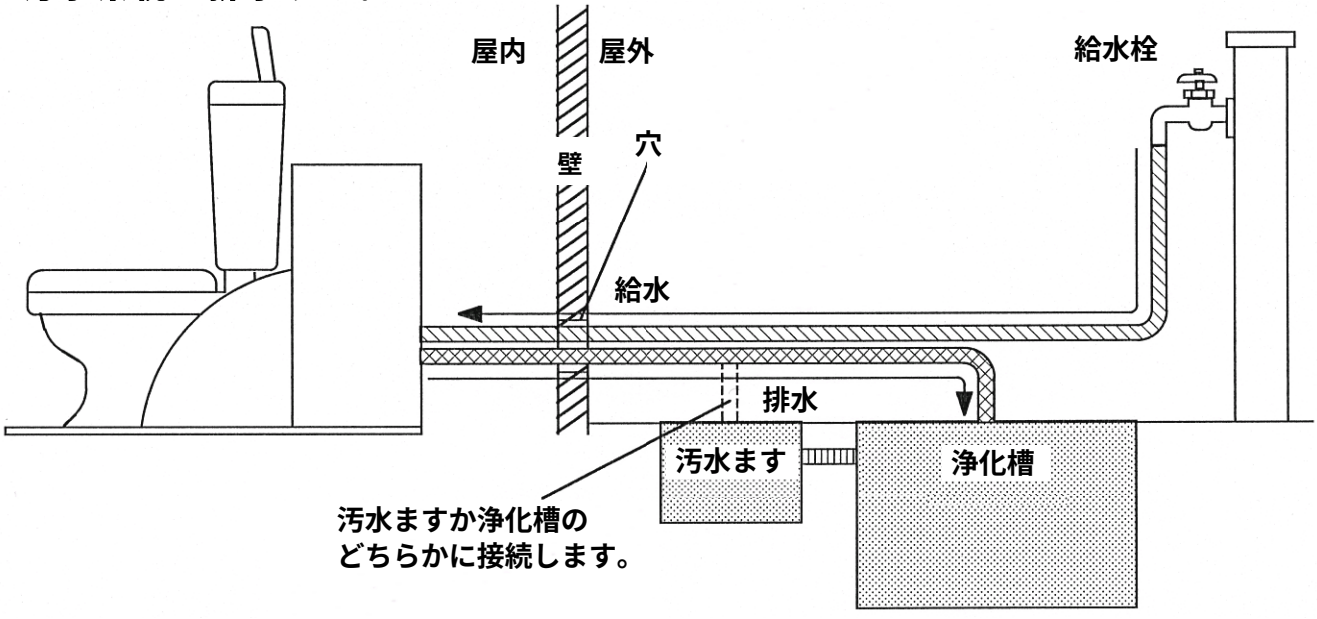
１）トイレの止水栓より給水し、汚水は便器へ排水する。



２）手洗いの止水栓より給水し、汚水は最寄りの汚水系統へ排水する。



３）窓用配管器具を利用するか、壁に穴を開け、屋外の給水栓より給水し、屋外の
汚水系統へ排水する。

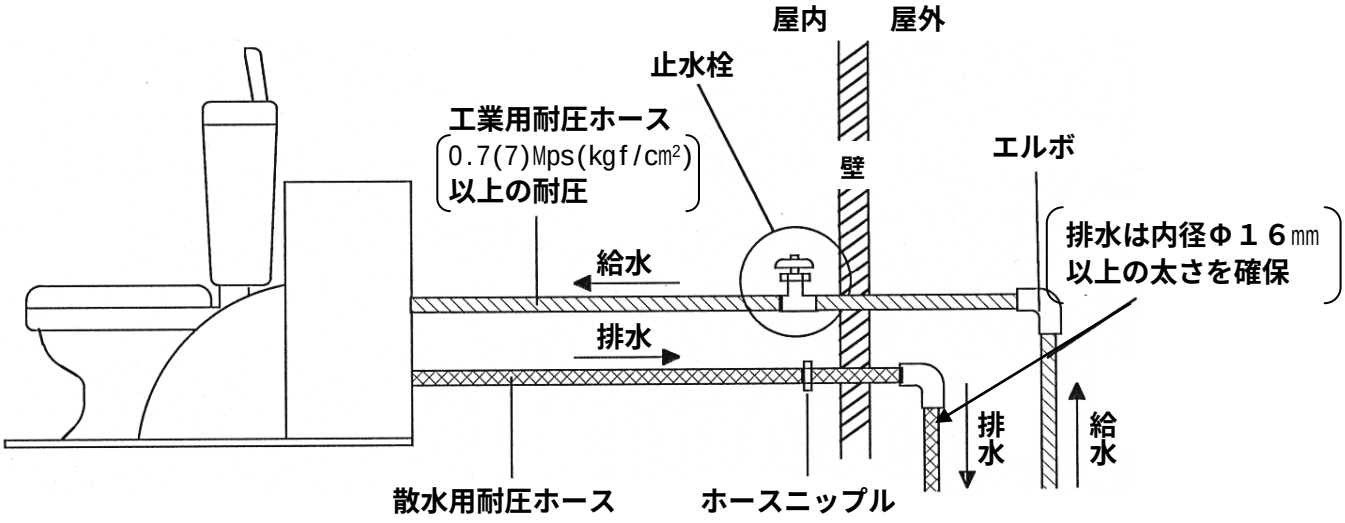


4）ラブレット設置用に給水・配水管を設置する場合。

注　意
Caution

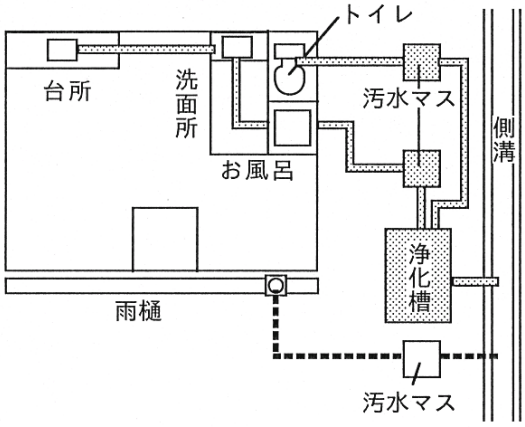
○設置にあたっては「給排水設備基準」に基づき実施願います。

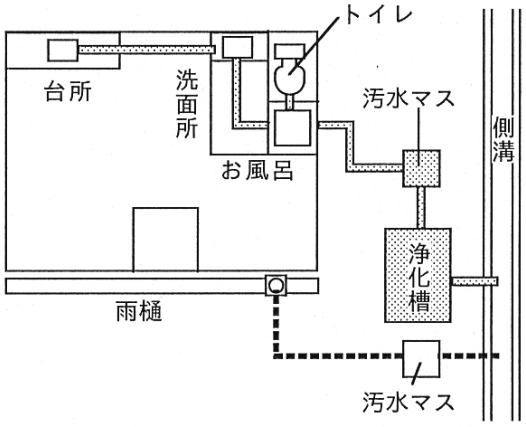
※給排水設備基準に従い施工してください。



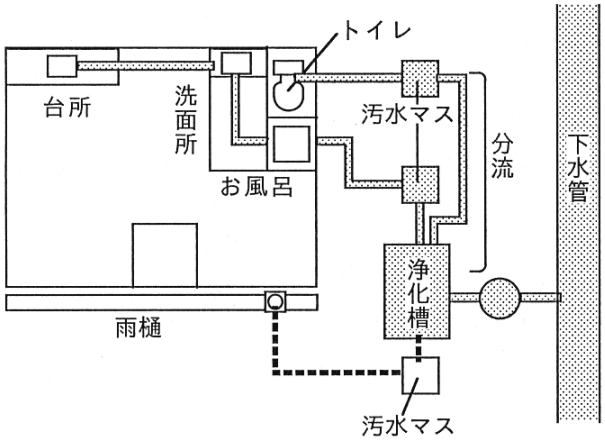
●ご確認ください。（一般住宅における排水系統）

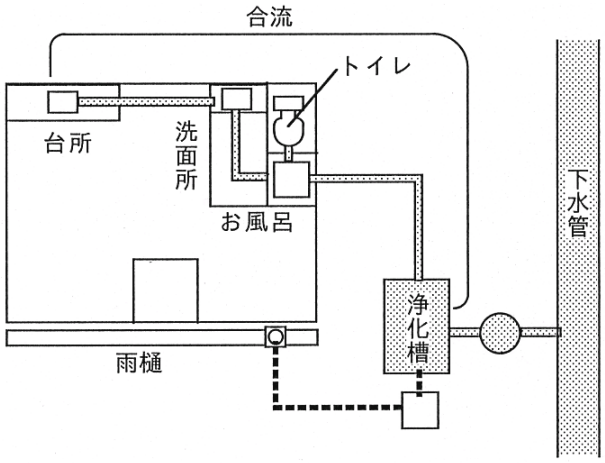
下水道がないとき



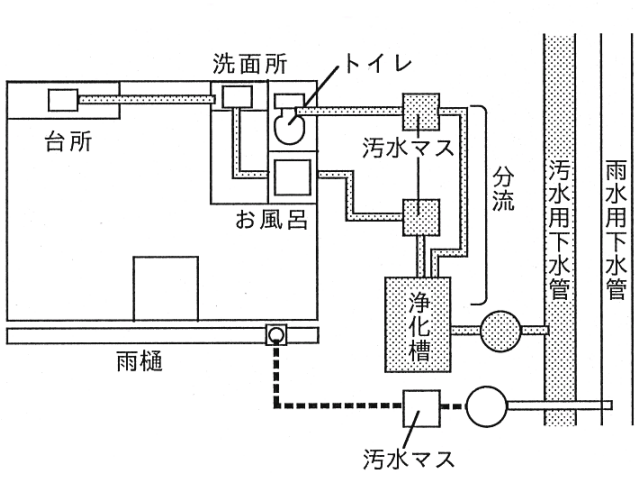


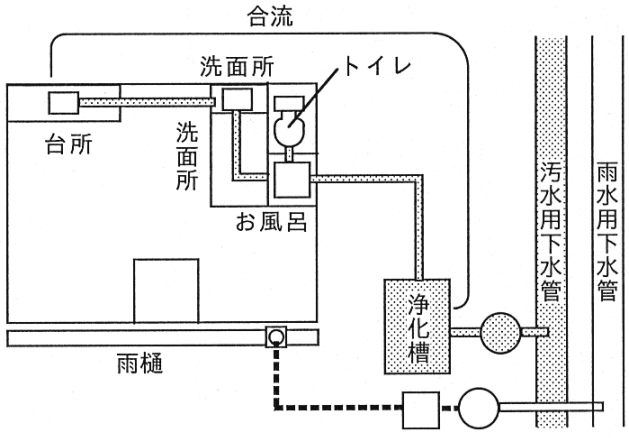
合流式の下水道のとき





分流式の下水道のとき





※注意：ラブレットの排水は必ず ▨ の汚水系統に接続してください。

アフターサービスについて

１）修理を依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（１１～１２ページ）を参照にしてください。

２）修理を依頼されるとき

お求めの販売店または、(株)本宏製作所（TEL 0256-93-5035）に修理を依頼してください。

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

＊修理料金は＊

技術料＋出張料＋部品代　で構成されています。

＊連絡していただきたい内容＊

１．ご住所、ご氏名、電話番号
２．商品名
３．ご購入日
４．故障内容、異常の状況
５．その他修理に必要と思われる事項

３）その他おわかりにならない事柄についてのご質問など

(株)本宏製作所（TEL 0256-93-5035）へお問合わせください。

ポータブル水洗トイレ「ラブレット」　保証書

型番：ＨＦ－１	製造番号
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日
保証期間	お買い上げ日より　　本体　　１年間

お客様	お名前
	ご住所　　〒　　－ 電話（　　）　　－

販売店	お名前
	ご住所　　〒　　－ 電話（　　）　　－

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から上記の納入期間中に故障が発生した場合は、本書を提示の上、お買上げの販売店、または弊社に修理をご依頼ください。

※本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社にお問合わせください。

≪無料修理規定≫

１．取扱説明書等の注意に従った状態で故障した場合には、お買上げの販売店または弊社が無料修理いたします。

２．保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買上げの販売店または弊社にご依頼ください。この商品は、出張修理いたしますので、その際には保証書をご提示ください。

３．保証期間内でも次の場合には有料になる場合があります。
（Ａ）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障及び損傷。
（Ｂ）お買上げ後の取扱場所の移動、落下等による故障及び損傷。
（Ｃ）火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、塩害、異常電圧等による故障及び損傷。
（Ｄ）車及び船舶への搭載等に使用された場合の故障及び損傷。
（Ｅ）本書の提示がない場合。
（Ｆ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き換えられた場合。
（Ｇ）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。

４．本書は日本国内にのみ有効です。
（This is warranty is valid only in Japan.）

５．本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

【修理メモ】

株式会社　本宏製作所

〒959-0296
新潟県燕市吉田法花堂１９４９－１
TEL 0256-93-5035　FAX 0256-92-6532
Email alvix2sales@honko.co.jp
URL http://www.honko.co.jp